

業務状況説明書

(平成31年4月1日から令和元年9月30日まで)

富士見市下水道事業

1 令和元年度上半期の状況

(1) 事業の概況

ア 業務

本年度の上半期は、前年同期と比較して水洗便所化人口で、3,513 人 (3.32%) の増加となっており、1 日平均処理水量は 705 m³ の増加、有収水量は、44,832 m³ の減少となっております。

区 分	年 度 令和元年度 上半期	平成 30 年度 上半期	比 較	
			増 減	増減率 (%)
水洗便所化人口 (人)	109,169	105,656	3,513	3.32
1 日平均処理水量 (m ³)	32,900	32,195	705	2.19
有 収 水 量 (m ³)	5,156,922	5,201,754	△44,832	△0.86

イ 建設改良事業

公共下水道の汚水事業につきましては、柳瀬第 9 処理分区 (大字水子地内) の管渠築造工事を実施しています。雨水事業につきましては、新河岸川第五排水区 (別所堀) 及び新河岸川第一排水区 (山室 2 丁目地内) の幹線管渠工事等を実施しています。特定環境保全公共下水道事業につきましては、新河岸第 16-1-1 処理分区 (大字南畑新田地内外) の管渠築造工事を実施しています。

(2) 経理の状況 (税込)

上半期における経理の状況は、次のとおりです。

ア 収益的収入及び支出

(単位:千円)

収 入				支 出			
科目	予算現額	執行額	執行率	科目	予算現額	執行額	執行率
事業収益	1,820,468	780,995	42.90	事業費	1,536,655	225,115	14.65
営業収益	1,289,711	778,371	60.35	営業費用	1,381,724	148,384	10.74
営業外収益	530,756	2,274	0.43	営業外費用	153,891	76,656	49.81
特別利益	1	350	34,995.20	特別損失	540	75	13.85
				予備費	500	0	0.00

イ 資本的収入及び支出

(単位:千円)

収 入				支 出			
科目	予算現額	執行額	執行率	科目	予算現額	執行額	執行率
資本的収入	1,188,287	62,545	5.26	資本的支出	2,033,068	706,334	34.74
企業債	932,500	0	0.00	建設改良費	1,313,138	350,000	26.65
国庫(県)補助金	152,360	0	0.00	企業債償還金	718,930	356,333	49.56
負担金	103,427	62,545	60.47	予備費	1,000	0	0.00

2 平成30年度決算の状況

(1) 事業の概況

ア 業務

事 項	平成30年度		平成29年度		比 較			
					増 減		比 率	
現在処理区域内人口(A)	109,691	人	109,050	人	641	人	100.59	%
行政区域内人口(B)	111,463	人	111,016	人	447	人	100.40	%
普及率(A)/(B)	98.41	%	98.23	%	0.18	%	—	
水洗便所化人口(C)	108,701	人	105,187	人	3,514	人	103.34	%
水洗便所済戸数	54,915	戸	53,320	戸	1,595	戸	102.99	%
水洗化率(C)/(A)	99.10	%	96.46	%	2.64	%	—	
年間処理水量	11,713,622	m ³	12,346,734	m ³	△633,112	m ³	94.87	%
年間有収水量	10,393,265	m ³	10,388,612	m ³	4,653	m ³	100.04	%
1日平均処理水量	32,092	m ³	33,827	m ³	△1,735	m ³	94.87	%

イ 建設改良事業

公共下水道の汚水事業につきましては、砂川堀第4-2処理分区（大字勝瀬地内）を173.6m、江川第3処理分区（鶴瀬東1丁目地内）を41.8m、柳瀬第9処理分区（大字水子地内）を30.6m、新河岸第12-2-1処理分区（山室2丁目地内）を17.9m、それぞれ単独事業として合計263.9mの管渠築造工事を実施しました。

次に、特定環境保全公共下水道事業につきましては、新河岸第16-1-1処理分区（大字南畑新田地内）を国庫補助事業として573.6m、新河岸第14処理分区（大字南畑新田地内）を単独事業として391.5m、合計965.1mの管渠築造工事を実施しました。

(2) 経理の状況

ア 収益的収入及び支出

収入総額は1,741,870,910円(税込金額1,817,596,846円)で、前年度より1.79%の減となっております。

下水道使用料については、931,164,641円(税込金額1,005,657,804円)となり、前年度と比較して0.12%の増となりました。

支出総額は、1,440,013,794円(税込金額1,473,691,719円)で、前年度よりも2.60%の減となっております。

この結果、純利益301,857,116円を計上しております。

イ 資本的収入及び支出

収入総額 677,350,298円(税込金額677,485,536円)に対して、支出総額は1,459,573,607円(税込金額1,505,256,932円)となりました。

この結果、税込収支における差引不足額は827,771,396円となり、この不足額については、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額33,354,091円、過年度分損益勘定留保資金681,040,042円及び当年度分損益勘定留保資金113,377,263円で補填しております。

収益的収入及び収支(税抜)

(単位:円)

収 入			支 出		
科目	決算額	構成比	科目	決算額	構成比
事業収益	1,741,870,910	100.00	事業費	1,440,013,794	100.00
営業収益	1,208,879,440	69.40	営業費用	1,264,511,876	87.81
営業外収益	532,782,186	30.59	営業外費用	175,483,778	12.19
特別利益	209,284	0.01	特別損失	18,140	0.00

資本的収入及び収支(税込)

(単位:円)

収 入			支 出		
科目	決算額	構成比	科目	決算額	構成比
資本的収入	677,485,536	100.00	資本的支出	1,505,256,932	100.00
企業債	504,300,000	74.44	建設改良費	757,678,565	50.34
国庫(県)補助金	100,100,000	14.77	企業債償還金	747,578,367	49.66
負担金	73,085,536	10.79			